

自由に参加できます！

第33回明大昆虫セミナー

(明治大学科学技術研究所 講師招聘講演会)

外来種チャコウラナメクジの季節適応機構

宇高 寛子 氏

(京都大学大学院 理学研究科)

日時：2015年10月23日(金) 16:30~18:00頃

会場：明治大学生田キャンパス 農学部6号館 6-204教室

生物が新しい生息域に移入する場合、その環境、特に気候に対応できなければ次世代を残すことができない。

現在、日本でもっとも一般的に見られるナメクジのひとつがチャコウラナメクジである。本種は第二次大戦後に移入し、移入後約50年という短い期間で、北海道から沖縄までと気候の異なる地域に分布を拡大することに成功している。しかし、チャコウラナメクジが移入先の日本の気候に、どのように適応しているのかは明らかになっていなかった。

本講演では、農業害虫としても重要なチャコウラナメクジの生活史やその生理生態学的背景（光周性・温度耐性）、地理的変異といった季節適応機構について解説して頂くとともに、近年侵入が確認されたマダラコウラナメクジについても紹介して頂きます。奮ってご参集下さい。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享